博物館、名所と旧跡

Museu de Cerâmica de Sacavém
住所： - Urbanização Real Forte, Rua Álvaro Pedro Gomes (piso 1) - 2685-137 Sacavém- Pr. Manuel Joaquim Afonso (piso 0) - 2685-145 Sacavém
电话： +351 211 150 536 - 211 151 083/4
Eメール: dcmuseus@cm-loures.pt ; seceramica@cm-loures.pt
ウェブサイト： https://www.cm-loures.pt/Ligacao.aspx?DisplayId=109&CursorId=527

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

サカヴェン陶磁器博物館（Museu de Cerâmica de Sacavém） サカヴェン工場は、1856年にマヌエル・ジョアキン・アフォンソが設立し、ジョン・スコット・ハワース、ジェームズ・ギルマン、クライヴ・ギルバートが引き継ぎました。ファイアンス焼きの製造で有名になり、当初よりヨーロッパで最高の陶磁器工場のひとつに数えられていました。 この工場が評判となった理由のひとつは、長石を使ったファイアンス焼きの食器類の大量生産をポルトガルで初めて手がけた工場がここであり、アズレージョや便器やモザイクの大量生産を最初に始めた工場でもあったことです。

このように数々の成功をおさめ、革新性を持ちあわせていたにもかかわらず、この工場は時代の変化に適応することができず、1979年に倒産しました。それから10年の時を経て、かつての工場の記憶を後世に残していくために、2000年に陶磁器博物館がオープンしました。この博物館は18番の窯を中心につくられています。窯は円形をしており、美しさに定評があったサカヴェン工場のさまざまな製品が通っていった取り出し口が10ヶ所についています。その他のスペースは、すべてこの窯を中心にアレンジされており、5,000点を超える磁器と約100点のアズレージョが展示されています。 複数の展示室と、テージョ川（Rio Tejo）を見渡せる素晴らしいテラスがあるほか、作業所では以前サカヴェン陶磁器工場で働いていた作業員が再現する昔の製造工程を見学することもできます。

サカヴェン陶磁器博物館は、英国のヨーロッパ博物館フォーラムから、産業遺産部門の最優秀賞を授与されています。

アソーレス諸島

Angra do Heroísmo

Casa Etno-Museu Dr. Marcelino Moules
住所： Estrada Dr. Marcelino Moules, nº41 Cinco Ribeiras 9700 Angra do Heroísmo
电话： +351 295 907 063 - 295 907 169 ファックス： +351 295 907 063

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ガイドツアー;

Museu de Angra do Heroísmo
住所： Edifício de São Francisco 9701-875 Angra do Heroísmo
电话： +351 295 240 800 ファックス： +351 295 240 817 / 295 240 818
Eメール: museu.angra.info@azores.gov.pt ウェブサイト： http://museu-angra.azores.gov.pt/

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;

2013 ポルトガル観光局 無断転載・転用禁止
info@visitportugal.com

Palácio dos Capitães Generais
住所： Rua do Palácio 9700 Angra do Heroísmo
电话： +351 295 402 300 ファックス： +351 295 213 959
Eメール: filipa.vf.silva@azores.gov.pt; teresa.mq.mendes@azores.gov.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ガイドツアー;

Ilha de São Jorge

Igreja de São Mateus
住所： Estrada Regional - Urzelina 9800 Velas
电话： +351 295 416 484 ファックス： +351 295 416 966

特色とサービス:
ガイドツアー;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;

Igreja Matriz de Santa Catarina
住所： 9850 Calheta

特色とサービス:
ガイドツアー;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;

Ilha de São Miguel

Museu Municipal da Ribeira Grande
住所： Rua São Vicente Ferreira 9600 Ribeira Grande
电话： +351 296 470 736 ファックス： +351 296 472 720
Eメール: museumunicipal@cm-ribeiragrande.pt ウェブサイト： http://www.cm-ribeiragrande.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ガイドツアー;

Ponta Delgada

Convento e Capela de Nossa Senhora da Esperança
住所： Campo de São Francisco 9500 Ponta Delgada
电话： +351 296 284 453 ファックス： +351 296 283 801

特色とサービス:
ガイドツアー;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;

Museu Carlos Machado
住所： Rua João Moreira 9500-075 Ponta Delgada
电话： +351 296 283 814 ファックス： +351 296 629 504
Eメール: museu.cmachado.edu@azores.gov.pt ウェブサイト： http://museucarlosmachado.azores.gov.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;

アルガルヴェ

Albufeira

Museu Municipal de Arqueologia de Albufeira
住所： Praça da República, n.º 18200-081 ALBUFEIRA
电话： +351 289 599 508
Eメール: museu.municipal@cm-albufeira.pt ウェブサイト： https://www.cm-albufeira.pt/content/museu-municipal-de-arqueologia

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;

Aljezur

Museu do Mar e da Terra da Carrapateira
住所： Rua do Pescador 8670-230 Carrapateira
电话： +351 282 970 000 ファックス： +351 282 998 417
Eメール: museu-carrapateira@cm-aljezur.pt

バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;
この博物館は、カラパテイラ（Carrapateira）の村の中にあり、地域ならではの博物館という新しい世代の博物館です。ともすれば継承が難しくなってきている、この地域の伝統行事を紹介しています。

Faro

Museu Municipal de Faro
住所： Largo Afonso III, nº 14 8000-167 Faro
电话： +351 289 870 827/9 ファックス： +351 289 870 038
Eメール: dmar.dc@cm-faro.pt ウェブサイト： http://www.cm-faro.pt

バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;

アルガルヴェに創設された 2 番目の博物館であり、1894年にナビゲーターの生誕 500 周年を記念して、Museu Archeológico e Lapidar Infante D. Henrique に名称変更されました。

最初の施設は市役所の建物内にありました。1913 年に、コレクションは旧カプチン派聖アントニオ修道院の教会に移され、1971年に現在の敷地である国定記念建造物・聖母被昇天男子修道院（Mosteiro de Nossa Senhora da Assunção）に移されるまでそこにとどまりました。

考古学的遺構は、先史時代、ローマ時代、中世の時代からの品々を寄せ集めた最も重要なものです。ローマ時代の最も重要な遺構としては、2 世紀から3 世紀にかけてのモザイク、ハドリアヌスとアグリッピナの皇帝の胸像、オッソノバの碑文のコレクションがあります。

展覧会のもう 1 つの旧蔵書は、碑文が刻まれた大理石の墓石であり、シルヴェスの塔の建設を示しています。おそらく、その都市の防御システムを強化することを目的とした太陽の門 (ポルタ・ド・ソル) の塔です。華美な装飾が施された碑文は、誰が門の建設を命じたのかを特定してい

ます - アルマンゾールの息子であるアルモハドの王子アブール・ウラ・イドリース（Abu l-Ula Idris）です。彼の名前は、イブン・マフフズ（Ibn Mahfuz）がアルモハドに反抗してシルヴェスに小さな独立王国を建設したときにマフフズの手により消されました。

質の高いコレクションは、かつてアルガルヴェの寺院に寄贈されていた宗教的な標本を中心とした 16 世紀から 19 世紀の絵画です。カルロス・ポルフィリオ（Carlos Porfírio）がアルガルヴェの伝説を描いた 20 世紀の絵画も非常に重要なものです。

ファロ市立博物館は、2002 年 5 月からポルトガル博物館ネットワークに参加しています。

2005 年 11 月には、ポルトガル博物館学協会によって最高のポルトガル博物館として APOM 博物館学賞 - トリエンニアム 2003/05 が授与されました。

Portimão

Monumentos Megalíticos de Alcalar

住所： Centro Interpretativo dos Monumentos MegalíticosAlcalar 8500-120 Mexilhoeira Grande
电话： +351 282 471 410
Eメール: alcalar@cm-portimao.pt ウェブサイト： https://culturaportugal.gov.pt/pt/conhecer/local/drcalgarve/monumentos-megaliticos-de-alcalar/

その他の情報:
ガイドツアー（要予約）があります。
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;

アルカラル（Alcalar）の巨石建造物 元は12の回廊墓からなっていた共同墓地であり、巨石でつくられた単純な墓室から、両側に壁龕（へきがん）のある疑似アーチまで、幅広い建築上の問題解決策や建築技術を示しています。

Museu de Portimão

住所： Rua D. Carlos I8500-607 Portimão
电话： +351 282 405 230 ファックス： +351 282 405 277
Eメール: museu@cm-portimao.pt ウェブサイト： http://www.museudeportimao.pt/

バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;
支払い:
クレジットカード利用可;

Sagres

Fortaleza de Sagres

住所： Rua da Fortaleza8650-360 Sagres
电话： +351 282 620 140 ファックス： +351 282 620 141
Eメール: fortaleza.sagres@cultalg.pt ウェブサイト： http://www.cultalg.pt

その他の情報:
ガイドツアー（要予約）があります。
特色とサービス:
ガイドツアー; レストラン; ショップ; カフェテリア;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
支払い:
クレジットカード利用可;

São Brás de Alportel

Museu do Trajo
住所： Rua Dr. José Dias Sancho, 61 8150-141 São Brás de Alportel
电话： +351 289 840 100
Eメール: geral@museu-sbras.com ウェブサイト： http://www.museu-sbras.com

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;
アルガルヴェ民族衣装博物館（Museu Etnográfico do Traje Algarvio） コルクの商いで財をなしたラバ引きの住まいを利用した博物館です。この建物は、19世紀末のブルジョワ建築の典型的な例と言えます。 19〜20世紀のアルガルヴェ（Algarve）で見られた代表的な衣装に加え、大衆的な宗教彫刻の数々も展示されています。農業に使用されていた建物には、かつてアルガルヴェで使われていた約20台の古い乗物が展示されています。その他にも農業用具セクションや、コルクとコルク産業に関するセクションが設けられています。

Silves

Museu Municipal de Arqueologia de Silves
住所： Rua das Portas de Loulé, 14 8300-139 Silves
电话： +351 282 444 832 - 282 440 838 - 282 440 800 ファックス： +351 282 440 862
Eメール: dctp@cm-silves.pt ウェブサイト： https://www.cm-silves.pt/pt/menu/547/museu-municipal-de-arqueologia-de-silves.aspx

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;

シルヴェス市立考古学博物館 (Museu Municipal de Arqueologia de Silves)

シルヴェス市立考古学博物館は、コレクション全体の蔵書票であり、ポルトガルのイスラム遺産の宝石である、12 世紀から 13
世紀のアルモハド貯水池について、市議会のイニシアチブによって 1990 年に創設されました。

16 世紀には完全にぎゅうぎゅう詰めにされたこのスペースは、19 世紀には住宅地として機能するようになります。この貯水池は、保存状態が良く、深さ約 18 メートル、直径 2.5
メートルのアルモハド時代の建造物であることが1980
年代の考古学的発掘調査によって明らかになりました。3 つの窓が異なる高さで開き、井戸の充填レベルに応じた水の利用を可能にする「らせん階段」の存在は、ポルトガルのイスラム建築の珍しい作品であり、かつユニークな例であり、国定記念建造物として分類されています。

この地域で発見された考古学的発見に由来する博物館のコレクションは、先史時代、ローマ時代、イスラム時代、現代の年代順にさまざまな切り口でまとめられています。

半島南西部の記述の記録とともに鉄器時代の葬儀の星印があることも言及に値します。これはまだ解読されていませんが、この地域の最初の記述であると考えられています。

2013 ポルトガル観光局 無断転載・転用禁止
info@visitportugal.com

Tavira

Museu Municipal de Tavira / Palácio da Galeria
住所： Palácio da Galeria - Calçada da Galeria8800-306 Tavira
电话： + 351 281 320 540 ファックス： +351 281 322 888
Eメール: museu@cm-tavira.pt ウェブサイト：
http://museumunicipaldetavira.cm-tavira.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能; 身体の不自由な方でもアクセス可能;
入口へのバリアフリー経路: 一部; バリアフリー入口: 全部;
建物内のバリアフリー通路: 一部; バリアフリーのエリア／サービス:
身体障害者用設備; バリアフリー情報: 案内板, 凡例;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;

Vila Real de Santo António

Galeria Manuel Cabanas
住所： Centro Cultural António Aleixo Rua Dr. Teófilo Braga 8900-303 Vila Real de Santo António
电话： +351 281 510 045 ファックス： +351 281 510 049
Eメール: geral@cm-vrsa.pt ウェブサイト： http://www.cm-vrsa.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;

Vila do Bispo

Ermida de Nossa Senhora de Guadalupe
住所： EN 125 8650-285 RaposeiraVila do Bispo
电话： +351 282 639 042
Eメール: geral@cultalg.pt ウェブサイト： http://www.cultalg.pt

その他の情報:
ガイドツアー（要予約）があります。
特色とサービス:
ガイドツアー; ショップ;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
支払い:
クレジットカード利用可;

アレンテージョ

Aljustrel

Museu Municipal de Aljustrel
住所： Rua de São João de Deus, 19 7600-116 Aljustrel
电话： +351 284 600 170 ファックス： +351 284 600 179
Eメール: museu@mun-aljustrel.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ガイドツアー;
市立考古学博物館（Museu Municipal de Arqueologia）－アルジュストレル（Aljustrel） アルジュストレルの市立考古学博物館では、この地域で行われた考古学的発掘調査によって発見されたさまざまな発掘品のコレクションを展示しています。ここに展示されている鉱物や岩石の大半は、アルジュストレル、ネヴェス‐コルヴォ（Neves-Corvo）、サン・ドミンゴス（São Domingos）の鉱山で採掘されたものです。 現在この博物館では、「アルジュストレルにおける鉱物2000年の歴史」展が開かれています。この展覧会は、地域一帯におけるローマ時代から現在までの採鉱の歴史を説明し、技術的な面やこの鉱山の街の日常生活についても紹介しています。

Castro Verde

Museu da Lucerna
住所： Largo Vítor Prazeres 7780-218 Castro Verde
电话： +351 286 327 414 ファックス： museulucerna1@sapo.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;
支払い:
トラベラーズチェック利用可;

Évora

Convento de Santa Clara em Évora
住所： Rua Serpa Pinto

バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
エヴォラのサンタ・クララ（Santa Clara）修道院 サンタ・クララ修道院は、1452年にエヴォラの司教、ドン・ヴァスコ・ペルディガォン（D. Vasco Perdigão）によって設立されました。 この修道院には、聖フランシス修道会の宗規に従って、カスティーリャ王国（Castille）のエンリケ4世（Henrique IV）の娘でポルトガル王ドン・アフォンソ5世（D. Afonso V）のフィアンセ、ドナ・ジョアナ王女（Princess D. Joana）も暮らしていました。また、教会のヴォールト天井に描かれているバロック以前およびバロック初期の壁画も、この修道院の重要な特徴の1つとなっています。 教会には、現在、改築工事のため閉館しているエヴォラ美術館の中核的な収蔵品が、一時的に保管されています。

MADE - Museu do Artesanato e do Design
住所： Praça 1º de Maio, 37000-650 ÉVORA
电话： +351 266 771 212
Eメール: cmevora@cm-evora.pt ウェブサイト： https://www.cm-evora.pt/locais/museu-do-artesanato-e-do-design-made/

時刻表:
09:30-13:00 / 14:30-18:00. 月曜休館;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ;

Fronteira

Centro de Interpretação da Batalha dos Atoleiros
住所： Avenida Heróis dos Atoleiros 7460-101 Fronteira
电话： +351 245 604 023
Eメール: atoleiros1384@cm-fronteira.pt ウェブサイト： http://www.atoleiros1384.cm-fronteira.pt

バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;

アトレイロス (Atoleiros) 1384 - アトレイロスの戦い理解センター（Centro de Interpretação da Batalha dos Atoleiros）は、1384年4月6日にフロンテイラ (Fronteira) 村から歩いてすぐのところで起こった歴史的決戦を、マルチメディアを駆使して再現し、見学者に体感してもらえるようにデザインされています。

アトレイロスの戦いは、ポルトガルの歴史と運命を左右する決定的瞬間でした。ヌノ・アルヴァレス・ペレイラがイングランドの戦法にヒントを得た作戦 (táctica do quadrado)
を用いて、数的優位にあったカスティーリャ軍を撃破したのです。

この勝利は極めて重要なものとなりました。大きな犠牲を払った相手とは異なり、ポルトガル側に死者や負傷者が出なかったばかりか、カスティーリャ軍の無敵のイメージに傷をつけ、ポルトガルが一国家としての立場を確立するきっかけとなったからです。

中世の戦争というテーマに関する国の文化的な参照基準となることを目標に、アトレイロスの戦い理解センター（Centro de Interpretação da Batalha dos Atoleiros） は新しいタイプの博物館を目指して作られました。巡見学者は回路によって戦場を異なる視点から眺めることができ、敵対する両軍の歴史的背景を把握できるとともに、戦闘の結果がいかにポルトガルの将来にとって重要だったかを理解できるようになっています。

Portalegre

Museu da Tapeçaria de Portalegre - Guy Fino
住所： Rua da Figueira 7300-139 Portalegre
电话： +351 245 307 530 ファックス： +351 245 307 545
Eメール: museu.tapecaria@cm-portalegre.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;
ポルタレグレ・タペストリー博物館（Museu da Tapeçaria de Portalegre）ーグイ・フィーノ（Guy Fino） この博物館は、ポルタレグレにおけるタペストリーづくり専門の博物館として、市議会の手で創設されました。市は、この地方特有の工芸品であるタペストリーやじゅうたんとその制作技術の紹介、保存、研究を行う場所として、またポルタレグレ・タペストリー製造所（Manufactura de Tapeçarias de Portalegre）の創始者であるグイ・フィーノの功績をたたえるために、この博物館をつくりました。 博物館をつくるために市が購入した建物は、かつてカステル・ブランコの住まいだった場所で、これを革新的で調和の取れた建物に改築しました。このプロジェクトは、ポルトガル博物館協会とポルタレグレ製造所の後援で行われ、特にポルタレグレ製造所は博物館の所蔵品のかなりの割合となる品々を寄贈しました。 この博物館では常設展に加え、タペストリーやじゅうたんの製造やデザインといったテーマに沿って、期間限定の展覧会も開いており、現代アートの美術館として受け入れられるようになっています。こうした展示には、ジュリオ・ポマール、リマ・デ・フレイタス、マリア・ケイル、ヴィエラ・ダ・シルヴ

ァ、アルマダ・ネグレイロス、フレッド・クラドルファー、コスタ・ピニェイロ、エドゥアルド・ネリー、アルパド・スゼンヌ、ジョゼ・デ・ギマライインスなどの作品を織物で再現したものが含まれています。

Santarém

Museu Diocesano de Santarém

住所： Edifício do SeminárioPraça Sá da Bandeira2000-135 Santarém

电话： +351 243 304 065 / 243 304 060

Eメール: geral@museudiocesanodesantarem.pt ウェブサイト： http://www.museudiocesanodesantarem.pt

時刻表:
月曜日～金曜日：午前10時～午後1時、および午後2時～午後6時
土曜日の非宗教的な祝日：午前10時～午後1時、午後2時～午後7時（10月～5月の間は午後6時）
日曜日と祭日：午後2時～午後7時（10月～5月の間は午後6時

休館日：火曜日、1月1日、聖金曜日および12月24日～31日;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;
支払い:
クレジットカード利用可;

Museu Diocesano de Santarém（サンタレン教区博物館）
サンタレン教区博物館はサンタレン大聖堂と国の「大聖堂ルート」プロジェクトの建築物の一部を形成する最近の博物館です。ここでは、壮大な空間と共に宗教的美術品の桁外れのコレクションに賛嘆する他はありません。記念建造物を訪れた観光客は、他では味わうことのできない体験に満足するはずです。

かつての王宮の廃墟に建てられた旧イエズス会大学の北ウィングに収納された、博物館のコレクションは13世紀から19世紀にさかのぼり、サンタレン教区の111の小教区に属している数百点の絵画、彫刻およびその他の宗教的遺産からなっています。また、これは建物の建築的価値をさらに高めるものとなっています。

博物館の場所は、セントジェームズ、ファティマおよびサンタレンの聖餐の奇跡への道など、重要な巡礼ルートが含まれることを意味します。博物館への観光は博物館はもちろん、大聖堂と教会の聖具も含む周遊旅行で構成されます。

その他の体験にはワインの試飲、女子修道会のスイーツまたは宗教音楽の演奏なども旅行に含まれます。

Vidigueira

Villa Romana de São Cucufate

住所： São Cucufate - Vila de Frades

电话： .

Eメール: dgpc@dgpc.pt ウェブサイト： http://www.patrimoniocultural.pt

特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; レストラン;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
サン・ククファテ（São Cucufate）のローマ時代のヴィラ(住居) 紀元1世紀につくられ、2世紀の前半に改築されたこのローマ時代のヴィラは、建て替えのために4世紀に壊されました。そのとき新築されたこの建物は現在も見ることができます。この建物は、中世においてサンティアゴ騎士団の修道院として使用された後、16世紀以降放置されていました。ヴィラの中央部は、極めて堂々たる様相を呈する左右対称の2つの塔に縁取ら

れています。このヴィラは「サンティアゴの遺跡」とも呼ばれています
。

ポルトと北部地方

Braga

Mosteiro de São Martinho de Tibães

住所： Rua do Mosteiro, nº 594700-565 Mire de Tibães (Braga)

电话： +351 253 622 670 / 253 623 950 ファックス： +351 253 623 951

Eメール: msmtibaes@culturanorte.gov.pt ウェブサイト： https://www.mosteirodetibaes.gov.pt/

バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ;

ブラガから約 6 ㎞ 離れたところに、ティバエスのベネディクト会修道院があります。かつてテヴィラニス(Tevilanis)と呼ばれたローマのヴィラ（邸宅）が存在した場所に建てられており、テオドミロがスエビ人によって統治されていた6世紀に聖マルタンDume によって創立されました。1078年、騎士のパイオ・グテレーレス・ダ・シルヴァは修道院を再建することを決めました。その後、1567年には、この場所が聖ベネディクト会のポルトガルおよびブラジル本部となりました。

17 世紀に、現在の建物が完成しました。建物は国内で最も壮大なもの（4つの回廊）で、マヌエル・アルヴァレスのプランに従い豊かに装飾されました。その他の興味深い点は、金箔の彫刻、アンドレ・ソアレスのレターブルとバロック様式の装飾(1750年）、バロック様式のオルガン(1786年)、そしてタイル作品です。実に実用的な装飾芸術の一派が17、18世紀のポルトガルの美術傾向に大いに影響を与えていたのはこの頃でした
。

修道院の壮大さは、聖ベネディクトに捧げられた18世紀の礼拝堂を含む周囲の庭園が引き立ててきます。

Museu Nogueira da Silva

住所： Avenida Central, 61 4710-228 Braga

电话： +351 253 601 275 ファックス： +351 253 264 036

Eメール: sec@mns.uminho.pt ウェブサイト： http://www.mns.uminho.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;
ノゲイラ・ダ・シルヴァ美術館（Museu Nogueira da Silva）
この美術館では、国内外の絵画、陶磁器、ファイアンス焼き、彫刻、タペストリー、アズレージョ、銀器、象牙細工を展示しています。

Museu do Tesouro da Sé

住所： Rua D. Paio Mendes 4700-427 Braga

电话： +351 253 263 317 ファックス： +351 253 263 731

Eメール: catedralbraga@hotmail.com ウェブサイト： http://www.se-braga.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ;

カテドラル宝物博物館（Museu do Tesouro da Sé） 宗教美術の博物館を設立するというアイディアは、1930年にマヌエル・ヴィエラ・デ・マトス司教によって提案されました。それを受けて、18世紀にロドリゴ・デ・モウラ・テレス司教によって建てられた旧カビド邸（Casa do Cabido）に、この博物館がつくられました。 この博物館では、陶磁器、家具、宝飾品、テキスタイルの非常に貴重なコレクションを所有しています。その幅広い展示品の中には、ルイス・デ・ソウザ司教が入手した17世紀のポータブル・オルガン、マヌエル1世がディオゴ・デ・ソウザ司教に寄贈した16世紀の祭服、450個のダイヤモンドが埋め込まれ金銀のめっきがほどこされた18世紀の聖宝容器などが含まれています。

Museu Pio XII

住所： Largo de Santiago 47 4700-532 Braga

电话： +351 253 200 130 ファックス： +351 253 200 131

Eメール: geral@museupioxii.com ウェブサイト： http://www.museupioxii.blogspot.com

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ガイドツアー; カフェテリア;

Bragança

Centro de Arte Contemporânea Graça Morais

住所： Rua Abílio Beça, 105 5300-011 Bragança

电话： +351 373 302 410 ファックス： +351 273 202 416

Eメール: centro.arte@cm-braganca.pt ウェブサイト： http://centroartegracamorais.cm-braganca.pt

バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能; 身体の不自由な方でもアクセス可能; 身体障害者専用駐車スペース; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア／サービス: 店舗, バー／カフェ, 身体障害者用設備, 中庭, ホール; バリアフリー情報: 案内板, 凡例, 双方向型・視聴覚資料を用いた発表;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;

Museu do Abade de Baçal

住所： Rua Abílio Beça, nº 27 5300-011 Bragança

电话： +351 273 331 595 ファックス： +351 273 323 242

Eメール: mabadebacal@culturanorte.gov.pt ウェブサイト： https://www.museuabadebacal.gov.pt/

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能; 身体の不自由な方でもアクセス可能; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア／サービス: 店舗, 身体障害者用設備, 中庭; バリアフリー情報: 案内板, 凡例; 利用可能な支援プロダクト／サービス: 運動障害, 精神障害;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;
支払い:
クレジットカード利用可;

アバデ・デ・バサール博物館（Museu do Abade de Baçal） アバデ・デ・バサール（バサール修道院長）博物館は、1915年に旧司教館を利用してつくられました。この司教館は17世紀に建てられたもので、ミランダ・ド・ドウロ（Miranda do Douro）とブラガンサの2つに分かれた司教区を行き来する司教が1年の半分を過ごす、正式な司教の住まいとして使われていました。博物館の名前は、バサールのフランシスコ・マヌエル・アルヴェス修道院長（1865－1948）を記念して付けられました。アルヴェス修道院長は、地域の歴史と芸術に強い関心を持った博学な人で、この博物館の設立に力を注ぎました。

この博物館では、9部屋を使って、トラスモンタノ（Trasmontano）地方北東部と司教館の歴史というテーマに沿った展示が行われています。設立当初からのコレクションに加え、バルボーザ・ロドリゲス大佐とサ・ヴェルガスからの寄贈品（18～19世紀の硬貨と金製の宝飾品）や、作家のゲーラ・ジュンケイロとトリンダーデ・コエーリョからの遺贈品の数々があります。特に価値のあるものとしては、15世紀の絵画「聖母マリアと幼子イエス（Virgem com o Menino）」、聖油の保管に使用されていた18世紀の戸棚、「聖イグナチオの受難（Martírio de Santo Inácio）」を描いた三連祭壇画（1560年頃）、カンバスに描かれた18世紀の「受胎告知（Anunciação）」があります。

Guimarães

Paço dos Duques de Bragança

住所： Rua Conde Dom Henrique 4800-412 Guimarães

电话： +351 253 412 273

Eメール: pduques@museusemonumentos.pt ウェブサイト： https://pacodosduques.gov.pt/

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能; 身体の不自由な方でもアクセス可能; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア／サービス: 店舗, バー／カフェ, 身体障害者用設備; バリアフリー情報: 案内板, 凡例, 双方向型・視聴覚資料を用いた発表, 触覚的探索用のアイテム; 利用可能な支援プロダクト／サービス: 視覚障害, 聴覚障害;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;

ブラガンサ公爵館美術館（Museu do Paço dos Duques de Bragança） ブラガンサ公爵館は、典型的なフランスの屋敷にインスピレーションを得て設計されたもので、15世紀始めに建設が開始されました。この館は、初代ブラガンサ公爵でありアヴィス家のジョアン1世の私生児である、バルセロス（Barcelos）のドン・アフォンソによって建てられたものです。後に、ブラガンサ公爵家の住まいはアレンテージョ（Alentejo）にあるヴィラ・ヴィソーザ（Vila Viçosa）の館に移されたため、ブラガンサの公爵館は段々と荒廃していき、1807年に軍の兵舎に転用されました。 1937年になって建物の修復作業が始められ、サン・マメーデの戦いのちょうど831年後にあたる1959年6月24日に、ノルマンの影響を受けたゴシック様式の荘厳な姿を取り戻した館が完成しました。北側の1階には近代美術の小さな美術館があり、この街出身の画家ジョゼ・デ・ギマライインス（ポルトガル観光のシンボルマークをつくったアーティスト）が生まれ故郷の街に寄贈した作品が展示されています。 1階の複数の大部屋を使用したこの美術館は、さまざまな美術館から集められた美術品やそのレプリカの展示を行っています。中でも多数の17世紀の家具、古い武器のコレクション、4枚の巨大な素晴らしいタペストリーが特に目を引きます。このタペストリーは組になっており、北アフリカの街アルジラ（Arzila）へのポルトガル人の到着、アルジラの包囲、タンジールの攻略の様子が細かく描かれています。このタペストリーの原物は、マドリッドに近いパストラーナ（Pastrana）で発見され、その後司教館に移されました。スペイン政府はタペストリーの複製は許可しましたが、原物のタペストリーをポルトガルへ返却することは認めなかったため、現在この公爵館美術館に飾られているものは複製の方です。

Penafiel

Museu Municipal de Penafiel
住所： Rua do Paço 4560-485 Penafiel
电话： +351 255 712 760 ファックス： +351 255 711 066
Eメール: museu.penafiel@cm-penafiel.pt ウェブサイト： http://www.cm-penafiel.pt/VSD/Penafiel/vPT/Publica/AccaoMunicipal/MuseuMunicipal/;http://www.cm-penafiel.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;

Peso da Régua

Museu do Douro
住所： Rua Marquês do Pombal 5050-286 Peso da Régua
电话： +351 254 310 190 ファックス： +351 254 310 199
Eメール: geral@museudodouro.pt ウェブサイト： http://www.museudodouro.pt

バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;
支払い:
クレジットカード利用可;

Porto

Casa-Museu Guerra Junqueiro

住所： Rua D. Hugo, 32　4050-305 Porto

电话： +351 22 200 36 89 ファックス： +351 22 208 60 29

Eメール: dmpc@cm-porto.pt ウェブサイト： http://www.portoturismo.pt/index.php?m=3

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
ゲーラ・ジュンケイロ美術館（Casa-Museu Guerra Junqueiro） ポルトのカテドラルに隣接する、18世紀の美しい建物を利用した美術館で、ポルトガル人作家ゲーラ・ジュンケイロ（1850－1923）が個人で集めたコレクションを展示しています。 展示品には、14～15世紀のものを中心とするポルトガル家具をはじめ、真鍮製品・銀製品の優れたコレクションや、陶磁器、宗教彫刻があります。

Museu do Papel Moeda da Fundação Dr. António Cupertino de Miranda

住所： Avenida da Boavista, 4245 4100-140 Porto

电话： +351 226 101 189 ファックス： +351 226 103 412

Eメール: sefacm@mail.telepac.pt ウェブサイト： http://www.facm.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

Palácio da Bolsa

住所： Rua de Ferreira Borges 4050-253 Porto

电话： +351 223 399 013 ファックス： +351 223 399 090

Eメール: turismo@cciporto.pt ウェブサイト： http://www.palaciodabolsa.com

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; レストラン;
支払い:
クレジットカード利用可;

ボルサ宮（Palácio da Bolsa） ボルサ宮（証券取引所）は、ポルトで最も重要な歴史的建造物のひとつであり、この街で絶対に見逃せない場所のひとつです。 19世紀の後半に新古典主義の様式でつくられた建物で、ポルト商工会の本部として使われていました。この事実からも商業がこの街の歴史にとっていかに重要なものであったかが分かります。1841年にマリア2世の命令により証券取引所として使われるようになりますが、1911年に商工会へ返還されています。 この建物は、ポルトの建築家ジョアキン・ダ・コスタ・リマ・ジュニオールが設計しました。建築的に優れた建物で、英国のパラディオ様式やポルトの街の他の建物を参考にしたことがはっきりと分かります。参考にした建物には、ジョン・カーが設計したサント・アントニオ病院（Hospital de Santo António）、カルロス・アマランテが設計した海運貿易学院（Academia da Marinha e Comércio：現在は科学大学[Faculdade de Ciências]）、ジョン・ホワイトヘッドが設計した工場（Feitoria

Casa-Museu Marta Ortigão Sampaio

住所： Rua Nossa Senhora de Fátima, 291　4050-428 Porto

电话： +351 22 606 65 68 ファックス： +351 22 605 70 01

Eメール: dmpc@cm-porto.pt ウェブサイト： http://www.portoturismo.pt/index.php?m=3

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
マルタ・オルティガン・サンパイオ美術館（Casa-Museu Marta Ortigão Sampaio） この美術館の建物は、建築家ジョゼ・カルロス・ロウレイロが設計したもので、19世紀後半から20世紀後半にかけての自然主義の絵画コレクションが展示されています。展示品の中には、アウレリア・デ・ソウザ、ソフィア・デ・ソウザ、マルケス・デ・オリヴェイラ、シルヴァ・ポルト、カルロス・レイス、ヴェローゾ・サルガド、ソウザ・ピント、アルトゥール・ロウレイロなどの作品があります。 絵画の他にも、17世紀から20世紀にかけての宝飾品300点以上を所蔵しています。

Museu Nacional de Soares dos Reis

住所： Rua D. Manuel II 4050-342 Porto

电话： +351 22 339 37 70 ファックス： +351 22 208 28 51

Eメール: mnsr@imc-ip.pt ウェブサイト： http://mnsr.imc-ip.pt

バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;
支払い:
クレジットカード利用可;

ソアレス・ドス・レイス国立美術館（Museu Nacional de Soares dos Reis） この美術館は、18世紀に建てられた新古典主義の宮殿に設けられています。19～20世紀のポルトガル絵画の素晴らしいコレクションを所有しており、中でも「ポルト派」と呼ばれる自然主義画家たちの時代の作品は特に見ごたえがあります。その中にはシルヴァ・ポルト、マルケス・デ・オリヴェイラ、アルトゥール・ロウレイロ、エンリケ・ポウザンの作品が含まれています。優れた彫刻家であったソアレス・ドス・レイス（1847－1889）の重要作品のコレクションもあります。 宮殿のメインフロア（現在修復工事中）には、その他に食堂や音楽室があり、宮殿として使われていた当時の装飾が一部残っています。このエリアは17～18世紀の絵画と装飾美術品の展示に使用されています。装飾美術品の中には、ポルトガル北部のファイアンス焼きの品をはじめとする興味深い陶磁器の数々、東洋の磁器、金細工、宝飾品、ガラス製品、家具などがあります。

Inglesa）などがあります。 宮殿内では、中央の中庭（Pátio das Nações）や、アラブの間（Salão Árabe）が見どころです。1862年にゴンサルヴェス・イ・ソウザによってつくられたアラブの間は、新ムーア様式の華麗な装飾をほどこした独特な部屋です。かつてはここで、世界の要人たちの歓迎式典など、ポルトで最も重要な公の式典が行われていました。現在この部屋は文化的な催しに使用されています。

Póvoa de Lanhoso

Museu do Ouro de Travassos

住所： Aldeia de Baixo - Travassos - Póvoa de Lanhoso 4830-771 Travassos PVL
电话： +351 253 943 790 ファックス： +351 253 943 792
Eメール: info@museudoouro.com ウェブサイト： http://www.museudoouro.com

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;
黄金博物館（Museu do Ouro）
この黄金博物館は、さまざまな金細工の工房があるトラヴァッソス（Travassos）村の金細工職人の仕事を紹介し、その質をさらに高めていくことを目的として創設されました。

ここでは、フランシスコ・デ・カルヴァーリョ・イ・ソウザが金細工職人として過ごした50年間に集めた品々や資料を展示しており、何代にもわたって培われてきた秘伝の技と知識の結晶である繊細な金線細工（フィリグリー）の制作方法が詳細に紹介されています。

展示品には、工房で使用される設備、職人自身が使用する道具、若干の銀細工とさまざまな金細工があり、その中には銅器時代の王冠やローマ時代の耳飾りなど、考古学的な遺物も含まれています。

Santa Maria da Feira

Museu do Papel Terras de Santa Maria

住所： Rua de Riomaior, 3384535-301 Paços de Brandão
电话： +351 22 744 29 47 ファックス： +351 22 745 99 32
Eメール: geral@museudopapel.org ウェブサイト： http://museudopapel.org/

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;
テラス・デ・サンタ・マリア紙博物館（Museu do Papel Terras de Santa Maria） 1822年に創設された昔の製紙工場の建物を利用したテラス・デ・サンタ・マリア紙博物館は、ポルトガルにおける紙の製造の歴史を紹介する専門博物館です。 現在も使用可能な製造エリアがあり、来館者が紙の製造プロセスに参加できるようになっています。ここでは、紙の歴史における産業化以前と産業化後の時代を対比させ、1枚ずつ手作業でつくっていく方法と、長くつながった紙をロール単位でつくっていく方法を紹介しています。 この博物館には、新工場（1795－1958）の跡も残っています。この工場跡は、堂々とした外見と周りの美しさから、他にはない独特なスペースとなっており、18世紀から19世紀にかけてサンタ・マリア・ダ・フェイラ（Santa Maria da Feira）の一部工場がいかに重要なものであったかをはっきりと物語っています。 この新しい博物館では、紙の製造の歴史を後世に伝えていくために、300年近くにわたって製紙業に関わってきたこの地域の歴史的、文化的、社会経済的価値を高め、

過去と未来とを結ぶ掛け橋を築いていくことを目標としています。

São João da Madeira

帽子博物館（Museu de Chapelaria）
住所： Rua Oliveira Júnior, 5013700-204 São João da Madeira
电话： +351 256 201 680
Eメール: museu.chapelaria@gmail.com ウェブサイト： http://museudachapelaria.blogspot.com

バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; レストラン;

ここは1914年、サン・ジョアン・ダ・マデイラ (São João da Madeira) の名士で、のちに当時の政府に産業・農業功労賞を授与されたアントニオ・ジョゼ・オリヴェイラ・ジュニオールによって創設され、その頃の人々に「新工場」（Fábrica
Nova）として知られるようになったところです。

工場は製造技術にかけては革新的で、常に市場のニーズを把握して最先端を走りました。この会社は、メリノウール（ファインウール）の帽子の商品化も行いました。いわゆる「ファッション帽」と呼ばれるもので、従来製造されてきた、きめの粗いウールの帽子とは全く異なるものでした。このファッション帽の製造機と製造技術を有するポルトガル唯一の企業として、エンプレサ・インドゥストリアル・デ・シャペラリア社 (Empresa Industrial de Chapelaria)
は長年にわたりその製造と販売を独占していました。

帽子産業の黎明期からの歴史の一部を担い、結果として、その繁栄と衰退の時代をともに歩んだエンプレサ・インドゥストリアル・デ・シャペラリア社は1995年に閉鎖されました。同社は、帽子づくりを生涯の仕事とした帽子製造者や職人を何世代にもわたって雇用、育成した工場のイメージと永遠に結びつけられるでしょう。

オリヴェイラ・ジュニオール通り (Rua Oliveira Junior)
にあり、現在、帽子博物館（Museu de Chapelaria）が入居する建物は、均整のとれた落ち着いたデザインで知られ、それ自体がポルトガル建築史の一時代を映すものとなっています。

Viana do Castelo

Museu de Artes Decorativas
住所： Largo de São Domingos　4900-330 Viana do Castelo
电话： +351 258 809 305 | +351 258 820 377 ファックス： +351 258 824 223
Eメール: museu.a.a@cm-viana-castelo.pt ウェブサイト： http://www.cm-viana-castelo.pt/pt/mad-apresentacao

バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能; 身体の不自由な方でもアクセス可能;
入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部;
特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア／サービス: 身体障害者用設備;
特色とサービス:
ガイドツアー; カフェテリア;

装飾芸術美術館 [Museu de Artes Decorativas]
18世紀に建てられた邸宅を利用した美術館です - テイシェイラ・バルボサ・マシエル[Teixeira Barbosa
Maciel]家の紋章が表に飾られています - ヴィアナ・ド・カステロ市立美術館は装飾芸術作品を専門に展示しています。青の彩色が特徴的なかの有名なヴィアナ・ド・カステロの陶器工房の多数の作品の実例をはじめ

とする、17世紀から19世紀のポルトガルの古いファイアンス陶器の価値あるコレクションを展示しています。

絵画作品のコレクション（16世紀のもの）や描画に加えて、18世紀のインド・ポルトガル家具およびポルトガルタイルやヒスパニック・アラビアタイルコレクションが収蔵されています。18世紀のポリカルポ・デ・オリヴェイラ・ベルナルデス[Policarpo de Oliveira Bernardes]が手がけたタイルは特に興味深い作品です。

Vila Nova de Foz Côa

Museu do Côa

住所： Rua do Museu 5150-620 Vila Nova de Foz Côa
电话： +351 279 768 260 ファックス： +351 279 768 270
Eメール: museu@arte-coa.pt ウェブサイト： http://www.arte-coa.pt

バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;
支払い:
クレジットカード利用可;

2010年7月30日にオープンし、ドウロ川とコア川が交わる斜面の 1 つにあるこのコア博物館は、最先端の技術を使用してコア渓谷の洞窟美術（特に25,000年前後～12,000年前の旧石器時代のもの）を展示しています。

博物館は、ヴァレ・ド・コア考古学公園の施設の1 つです。オフロード車による専門ガイド付きツアーが、3つの異なる旧石器時代の美術史跡で提供されています。ツアーは、事前に予約が必要です。また、博物館は考古学に関する実験ワークショップや他の教育サービスアクティビティも提供しており、こちらも事前予約が必要です。

Vila Nova de Gaia

Casa-Museu Teixeira Lopes

住所： Rua de Teixeira Lopes, 32 4400-320 Vila Nova de Gaia
电话： +351 223 742 904
Eメール: casamuseuteixeiralopes@cm-gaia.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;

Vila Pouca de Aguiar

Parque Arqueológico de Tresminas
住所： Centro Interpretativo de TresminasLargo do Cruzeiro s/n 5450-296 Tresminas (Vila Pouca de Aguiar)
电话： +351 259 458 091
Eメール: geral@tresminas.com ウェブサイト： http://www.tresminas.com

特色とサービス:
ガイドツアー;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
トレスミナス・考古学公園 トレスミナス考古学公園（Parque Arqueológico de Tresminas）では、ローマ時代最大の金鉱の1つをアウグストゥス皇帝（紀元前27年～西暦14年）の統治からセプティマス・セヴェルス（西暦193年～211年）の時代まで活動が行われていたことを示す証拠とともに見ることができます。 この地域は露天掘り方式で採掘が行われ、ここで人間の多大な労力が費やされたことを証明する大きなくぼみが作られており、鉱石の輸送、流れ、処理を展示するギャラリーの複雑なネットワークを形成しています。水はティニェラ川（Rio Tinhela）とリベイラ・ダ・フラガ（Ribeira da Fraga）からの水路系によって供給されていました。 古代からこの地域に人間がいたことは、シダデーリャ・デ・ジャレス（Cidadelha de Jales）にあるローマ時代の道路や橋、丘陵要塞などの考古学的遺跡が数多く存在することから示されています。 この公園の周囲にある自然遺産も同じく重要であり、自生植物は低木地（エニシダ、ヒース、ハリエニシダ、ヒトツバエニシダ、コークスクリュー・ヘーゼル）とオークの森で構成されて、非常に独特な特徴を持っています。また、この地域に巣を作るいくつかの猛禽類やギャラリー内に生息するコウモリも見ることができます。

Vila Real

Museu de Arqueologia e Numismática de Vila Real
住所： Rua do Rossio 5000-620 Vila Real
电话： +351 259 320 340 ファックス： +351 259 320 349
Eメール: museu@cm-vilareal.pt ウェブサイト： http://museu.cm-vilareal.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;

ポルトガル中部地方

Alcanena

Museu de Aguarela Roque Gameiro
住所： Largo Justino Guedes nº 2 2395-102 Minde
电话： +351 249 841 292 / 249 840 022
Eメール: museuaguarela@caorg.pt ウェブサイト： http://www.caorg.pt

バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;

Anadia

Aliança Underground Museum
住所： Rua do Comércio, 4443781-908 Sangalhos
电话： +351 234 732 000/45 ファックス： +351 234 732 005
Eメール: undergroundmuseum@alianca.pt ウェブサイト： http://www.alianca.pt

バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;
支払い:
クレジットカード利用可;

Aveiro

Museu de Aveiro
住所： Avª. Santa Joana Princesa 3810-329 Aveiro
电话： +351 234 423 297 - 234 383 188 ファックス： +351 234 421 749
Eメール: maveiro@drcc.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能; 入口へのバリアフリー経路: 全部; 建物内のバリアフリー通路: 一部; バリアフリーのエリア／サービス: 身体障害者用設備; 利用可能な支援プロダクト／サービス: 視覚障害;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;

アヴェイロ博物館（Museu de Aveiro） アヴェイロ博物館は、15世紀に建造されたかつてのジェズス修道院（Convento de Jesus）を利用した博物館です。ジェズス修道院は、アフォンソV世の娘ジョアンナ王女が入っていたことで知られる修道院です。ジョアンナ王女は、1490年にこの修道院で亡くなり、1673年に聖ジョアンナとなりました。ここには王族が暮らしていたことを物語る重要なものが2つ残されています。ひとつはジョアンナ王女の墓で、王室付きの建築家ジョアン・アントゥネスの設計によって18世紀前半につくられた、素晴らしい作品です。もうひとつは王女の肖像画です。これはヌーノ・ゴンサルヴェスとその弟子たちの作品といわれており、高貴な衣装に身を包み若さの絶頂にありながら、その表情に悲しみと諦めをたたえた王女が描かれています。修道院の教会には、タイルのパネルに覆われた壁に、聖ジョアンナの生涯を物語る6面の絵が飾られています。 この美術館は、1834年の修道会・教団の解散命令によって消滅した修道院や宗教施設から集められた美術品を収納するために、1911年に創設されました。絵画、彫刻、木工品、タイル、金銀細工、祭服、金糸の刺繍がほどこされたアンテペンディウム（祭壇の前飾り）、極めて稀少価値の高い15～16世紀の写本（この修道院の設立と聖ジョアンナの生涯に関する写本を含む）など重要なコレクションを所有しており、この地域を訪れる際には見逃せない場所となっています。 建

物の中には古い修道院の生活の面影を残す場所があり、展示品と同じくらい興味深いポイントです。玄関ホール、金に塗られた木造部やタイルが美しい礼拝堂が複数設けられている回廊、教会の1階部分の聖歌隊席、きらびやかな2階の聖歌隊席などがあります。1階の聖歌隊席は、修道女たちが一般の信者たちと格子をへだてて礼拝に出席するために使用されていました。

Batalha

Museu da Comunidade Concelhia da Batalha

住所： Largo Goa, Damão e Diu, n.º 4 2440-901 Batalha

电话： +551 244 769 878 ファックス： +351 244 769 111

Eメール: geral@museubatalha.com ウェブサイト： http://www.museubatalha.com

バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;

Caldas da Rainha

Atelier-Museu António Duarte

住所： Rua Dr. Ilídio Amado 2500-217 Caldas da Rainha

电话： +351 262 840 540 ファックス： +351 262 840 549

Eメール: centro.artes@cm-caldas-rainha.pt ウェブサイト： http://www.cm-caldas-rainha.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;
アントニオ・ドゥアルテ・アトリエ美術館（Museu-Atelier António Duarte） このアトリエ美術館は、彫刻家ジョアン・フラゴソとアントニオ・ドゥアルテの作品群を所蔵しています。これらの作品は、遺言によってカルダス・ダ・ライーニャの街に寄贈されたものです。 このアートセンターには、アトリエ、住居スペース、2つのアートギャラリーもあり、彫刻家レオポルド・デ・アルメイダとバラタ・フェーヨの家にあった作品も展示されています。

Museu de José Malhoa

住所： Parque D. Carlos I 2500-109 Caldas da Rainha

电话： +351 262 831 984 ファックス： +351 262 843 420

Eメール: mjm@imc-ip.pt ウェブサイト： http://mjm.imc-ip.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;
支払い:
クレジットカード利用可; トラベラーズチェック利用可;
ジョゼ・マリョア美術館（Museu de José Malhoa） この美術館は、ジョゼ・マリョアの作品を展示するため1933年に創設されました。オープンしたのは画家本人の死の数ヶ月前のことです。当初この美術館は、鉱泉病院の好意により改修・提供された、カルロスI世公園にあるカーザ・ドス・バルコス（Casa dos Barcos）を一時的に利用していました。その翌年、建築家パウリーノ・モンテスがこの美術館用の建物を設計し、1940年に完成しました。美術館として建設されたポルトガル初の建物であり

Casa-Museu São Rafael

住所： Rua Rafael Bordalo Pinheiro, 53 2500-246 Caldas da Rainha

电话： +351 262 839 384 ファックス： +351 262 839 382

Eメール: museu@fabordalopinheiro.pt ウェブサイト： http://www.fabordalopinheiro.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; レストラン;
サン・ラファエル博物館（Casa-Museu São Rafael）
この博物館のコレクションは、主にボルダロ・ピニェイロ工場（Fábrica Bordalo Pinheiro）において長年にわたってつくられてきた陶磁器からなっています。その中には、19世紀終わりにピニェイロがデザイン・製造した作品の現物や複製が含まれています。

Museu do Hospital e das Caldas

住所： Rua Rodrigo Berquó 2500-249 Caldas da Rainha

电话： +351 262 830 300 ファックス： +351 262 880 579

Eメール: mushospcaldas@sapo.pt ウェブサイト： http://www.museudohospital.wordpress.com

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;
鉱泉病院博物館（Museu do Hospital e das Caldas） この博物館の入っている建物は、レオノール王妃が治療を受けた場所であることから、「カーザ・レアル（王宮）」の名で知られていました。この博物館は、当時の施設とその周りにつくられた都会的な空間の記憶をとどめています。所蔵品には、16世紀から20世紀にかけての絵画、彫刻、木工品、金銀器、祭服、家具、陶磁器、図面・記録文書、医学器具・科学器具があります。

、ポルトガルのモダニズム建築の興味深い例です。 この美術館のコレクションは、マリョア本人の作品を中心とするポルトガル自然主義絵画の重要な作品群からなっています。マリョアの作品の中には、「ラウラ・ソーヴィネの肖像」、「群れへの叫び」、「秋の葡萄」、「雲」、「最新ニュース」、「春」、「隣人との会話」、「約束」などがあります。シルヴァ・ポルト、コルンバーノ、アントニオ・ラマーリョ、ジョアン・ヴァス、エンリケ・ピント、モウラ・ジラオンらと共にマリョアが所属していた画家集団グルーポ・ド・レアンの作品や、マルケス・デ・オリヴェイラなど他の現代画家たちの作品も展示されています。 自然主義絵画のコレクションの中には、ヴェローゾ・サルガドやルシアノ・フレイレの作品も含まれています。マルタとメディナによる肖像画や、エドゥアルド・ヴィアナのモダニズム作品にも興味深いものがあります。彫刻には、フランシスコ・フランコやレオナルド・デ・アルメイダなどの作品があります。 カルダス・ダ・ライーニャ（Caldas da Rainha）における陶磁器の長い伝統と重要さをふまえ、ラファエル・ボルダロ・ピニェイロの作品を中心とした陶磁器のセクションも設けられています。ピニェイロは陶磁器以外にも、テラコッタの彫刻が9つのグループをなす「キリストの受難」という作品をつくっています。

Coimbra

Museu Nacional de Machado de Castro

住所： Largo Dr. José Rodrigues3000-236 Coimbra

电话： +351 239 853 070

Eメール: geral@mnmc.dgpc.pt ウェブサイト： https://www.patrimoniocultural.gov.pt/pt/recursos/cedencia-e-aluguer-de-espacos/aluguer-de-espacos-museu-nacional-de-machado-de-castro/

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能; 身体の不自由な方でもアクセス可能;
入口へのバリアフリー経路: 一部; バリアフリー入口: 全部;
特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路:
全部; バリアフリーのエリア／サービス: 身体障害者用設備;
バリアフリー情報: 案内板, 双方向型・視聴覚資料を用いた発表,
触覚的探索用のアイテム; 支援スキル: 視覚障害, 聴覚障害;
利用可能な支援プロダクト／サービス: 視覚障害;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;
マシャード・デ・カストロ美術館（Museu Nacional de Machado de Castro） この美術館は、コインブラの出身で18世紀の最も有名なポルトガル人彫刻家、ジョアキン・マシャード・デ・カストロを記念して、マシャード・デ・カストロ美術館と名づけられました。この美術館が入っている司教の館には、12世紀の美しい回廊が残っており、ポルトガルでも指折りの優れた美術品コレクションを展示するのに理想的な環境を醸しだしています。 現在展示されている素晴らしい品々の多くは、この地域一帯の古い修道院に建てられた教会の収納庫や保管棚や祭壇にあったものです。ポルトガルの金銀細工コレクションの主なものには、12世紀のドン・ゲーダ・メンデスの杯、非常に美しい18世紀後半の銀製の聖母とキリスト像、素晴らしい鍍金銀製の聖体顕示器、聖イザベル（イザベル王妃）の宝石箱があります。見事な黒のキリスト像をはじめとするゴシック様式の木製彫刻、16世紀の彫刻・家具・象牙細工、ポルトガル絵画、フランドル原始主義派の絵画を含むマシャード・デ・カストロ美術館のコレクションは、教会と王室の豊かさを反映しています。 美術館の下には、ポルトガルに現存する最も印象的なローマ時代の建造物があります。屹立する巨大な2階建ての柱廊は、古代都市アエミニウム（現在のコインブラ）の大きな広場を支える目的で設計されたと考えられています。 現在マシャード・デ・カストロ美術館は修復・増築工事のため閉館していますが、この壮大なローマ時代の柱廊は見学することができます。

Entroncamento

Museu Nacional Ferroviário

住所： Rua Engº Ferreira de MesquitaComplexo Ferroviário do Entroncamento - Apartado 1902334-909 Entroncamento
电话： +351 249 130 382 ファックス： +351 211 021 773
Eメール: museu@fmnf.pt ウェブサイト： http://www.fmnf.pt

バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;

Fátima

Museu de Arte Sacra e Etnologia de Fátima

住所： Rua Francisco Marto, 52 - Apartado 5 2496-908 Fátima
电话： +351 249 539 470 ファックス： +351 249 539 479
Eメール: museuartesacra@consolata.pt ウェブサイト： http://www.consolata.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;
ファティマ宗教美術・民族学博物館（Museu de Arte Sacra e Etnologia de Fátima） ファティマ宗教美術・民族学博物館では、キリストの誕生と幼少時代の膨大なコレクションをはじめ、キリスト受難の十字架像からその死まで、救世主の歴史をたどることができます。 ポルトガル全土から集められた展示品の数々は、14世紀以降のポルトガル人の信仰心を示す貴重なものです。世界各地から集められた文書や書物、地図、図表、写真、美術品は、遠い昔から現代にいたるまでのキリストの教えを物語っています。これらの品々は、「発見」の時代を含むさまざまな時代においてポルトガル人が果たしてきた役割を明らかにするとともに、現在の文化的使命や崇高な宗教的使命に光をあてています。 民族誌関連の展示は、キリストの教えが宣教師によって伝えられた文化的背景を示すもので、アフリカ、アメリカ、中東から集められた品々が展示されています。 羊飼いのセクションでは、列福したフランシスコとジャシンタ・マルトやその家族に関する品々を見ることができます。

Museu Interativo "O Milagre de Fátima"

住所： Centro Comercial Espaço Fatimae,Av. Dom José Alves Correia da Silva, 123 (piso -1)2495-402 Fátima
电话： +351 249 406 881 - 916 030 189
Eメール: info@omilagredefatima.com ウェブサイト： http://www.omilagredefatima.com

時刻表:
4月-10月（午前19時009:30）; 11月-3月（18時309:30）
が最後に見た：閉じる前に40分;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;
支払い:
クレジットカード利用可;

誰として御出現の歴史は今までに言った...

次世代のマルチメディアと仮想対話型のルートで、忘れられない旅の経験、感覚や感情を存分にご堪能ください。新技術（ホログラムおよび4D）を使用して、初期の20世紀の歴史的文脈を再作成、ポルトガルの天使やファティマの聖母の御出現、日、ファティマ、教皇ヨハネ·パウロ二世の秘密の奇跡、他の主要なイベントの中でろうそくの行列、 。<

約40分のガイドツアーは、これはあなたがファティマ、世界の平和の祭壇の街の磁気を感じることができる感情を共有するユニークな体験です。どのように行ってみましょう！

Ílhavo

Museu Marítimo de Ílhavo

住所： Av. Dr. Rocha Madahil 3830-193 Ílhavo
电话： +351 234 329 990 ファックス： +351 234 321 797
Eメール: museuilhavo@cm-ilhavo.pt ウェブサイト： http://www.museumaritimo.cm-ilhavo.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;
イリャヴォ海洋博物館（Museu Marítimo de Ílhavo） このユニークな博物館では、勇気と冒険と感動に満ちたタラ漁の旅と、時に危険な海と共存していくために独自の性質を身に付けた海岸地域の住人たちの豊かな民

Museu Vista Alegre

住所： Fábrica de Porcelana da Vista Alegre 3830-292 Ílhavo
电话： +351 234 320 628 / 234 320 600 ファックス： +351 234 320 793
Eメール: museu@vistaalegre.com ウェブサイト： http://www.vistaalegre.com

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能; 身体の不自由な方でもアクセス可能;
入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部;
特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路:
全部; バリアフリーのエリア／サービス: 店舗, バー／カフェ,
身体障害者用設備; 支援スキル: 運動障害, 精神障害;
特色とサービス:

族性について紹介しています。 タラ漁に焦点をあてたコレクションの象徴的存在として、差掛け屋根を持つ原寸大のタラ漁船が展示されています。この船は実際に中に入ることができるようになっています。船に備え付けられた漁具などを見れば、何ヶ月もの間、寒く遠いグリーンランドやニューファンドランドの海で働き、船の上で寝起きする男たちの生活を想像することができるでしょう。 リア・デ・アヴェイロ・ラグーンのセクションには、さまざまな原寸大の船が展示されています。これらを見ると、このラグーンを生活に利用するには複雑なスキルと昔から伝わる豊富な知恵が必要であることがわかります。モリセイロ（海藻の採取に使う船）の船首を描いた絵やパネルは、カラフルで時にユーモラスなものもあるバラエティ豊かな象徴的表現です。この博物館の所蔵品にはその他に、油彩画、彫刻、陶器、デッサン、世界中から集められた膨大な数の貝殻、海藻が含まれています。 イリャヴォ海洋博物館の一部であるサント・アンドレ船博物館（Navio-museu Santo André）も見逃せません。この船は1948年に建造され、ポルトガルのタラ漁船団の船として活躍しました。現在は、リア・デ・アヴェイロの水路に停泊しています。

Leiria

Museu da Imagem em Movimento
住所： largo de São Pedro (cerca do Castelo) 2400-235 Leiria
电话： +351 244 839 675
Eメール: mimo@cm-leiria.pt ウェブサイト： http://www.cm-leiria.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;

Marinha Grande

Museu do Vidro da Marinha Grande
住所： Palácio Stephens Pç. Guilherme Stephens 2430-960 Marinha Grande
电话： +351 244 573 377 ファックス： +351 244 561 710
Eメール: museu.vidro@cm-mgrande.pt ウェブサイト： http://www.cm-mgrande.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;
マリーニャ・グランデ・ガラス博物館（Museu do Vidro da Marinha Grande） この博物館は、かつてウィリアム・スティーブンズが住まいとしていた館を利用しています。新古典主義を取り入れた18世紀の優雅な建物で、英国風の素晴らしい庭園があります。館の入口には18世紀につくられた鉄の門があり、かつて作業員を工場へ召集するために使われた鐘が今も残っています。 この博物館の所蔵品には、工場創設当時につく

ショップ; ガイドツアー;
支払い:
クレジットカード利用可;

ヴィスタ・アレグレ歴史博物館（Museu Histórico da Vista Alegre） イリャヴォ（Ílhavo）にあるヴィスタ・アレグレ博物館は、ポルトガルにおける陶磁器の歴史を網羅した、国内でも最も重要な陶磁器博物館のひとつです。

1920年に建てられたこの博物館は、ヴィスタ・アレグレ陶磁器工場における陶磁器製造のさまざまな時代を取り上げた５つの部屋からなっています。そのセクションには、同工場で初めてつくられた製品であるガラス製品・クリスタル製品、1824年から1832年の素焼き製品、試行錯誤を重ねた初期の磁器製品（1832－1838）、有名なフランス人肖像画家ヴィクトル・ロソーのデザインによる華麗なる時代の製品（1836－1868）、記念となる作品のセクションがあります。記念となる作品には、紋章が刻まれているものや、世界の芸術的傾向を反映したもの、芸術の世界における著名人のサインが入ったものなどがあります。

ここでは、値の付けられないような貴重な作品と、試作品や名もない作品とが一緒に展示されています。これらの作品は、1824年以降の陶磁器製造の歴史を物語る上で価値があるという理由で選ばれています。

ヴィスタ・アレグレ博物館には、デザイン画、関連書籍、陶磁器の製造に必要な原材料の下準備に使用される機械に加え、ヴィスタ・アレグレの長い歴史を紹介する品々も展示されています。

2013 ポルトガル観光局 無断転載・転用禁止
info@visitportugal.com

られた芸術的なガラス窓や、グラス、水差し、花瓶などの洗練されたクリスタルガラス製品に加え、17〜20世紀にポルトガル国内の主な工場でつくられたさまざまな製品があります。ガラスづくりに適した環境にあるこの博物館には、復元した工場のスペースや、小規模な家内工業としてのガラス工房も設けられており、ガラスづくりに関するさまざまなものが展示されています。 その他の部屋では、絵画、家具、記録文書、書物など、ポルトガルにおけるガラスの歴史に関する品々も展示されています。

Ourém

Museu Municipal de Ourém - Núcleo da Casa do Administrador
住所： Largo Dr. Vitorino de Carvalho, nº 14 2490-497 OURÉM
电话： +351 249 540 900 - +351 919 585 003 ファックス： +351 249 549 068
Eメール: museu@mail.cm-ourem.pt ウェブサイト： http://www.museu.cm-ourem.pt

バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;

Penela

Museu da Villa Romana do Rabaçal
住所： Rua da Igreja 3230-544 Penela
电话： +351 239 561 856 ファックス： +351 239 569 400
Eメール: museu.rabacal@cm-penela.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ガイドツアー; カフェテリア;
支払い:
トラベラーズチェック利用可;

Porto de Mós

CIBA - Centro de Interpretação da Batalha de Aljubarrota
住所： Av. D. Nuno Álvares Pereira, nº 120, São Jorge 2480-062 Calvaria de Cima
电话： +351 244 480 060
Eメール: info.geral@fundacao-aljubarrota.pt ウェブサイト： http://www.fundacao-aljubarrota.pt;https://visite.portodemos.pt

その他の情報:
CIBAとバターリャの修道院を結ぶ、歴史電車（Comboio Histórico ）が走っています。週末のみ30ごとの運行。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能; 身体の不自由な方でもアクセス可能;
身体障害者専用駐車スペース; 入口へのバリアフリー経路: 一部;
バリアフリー入口: 全部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア;
バリアフリーのエリア／サービス: 店舗, バー／カフェ, 身体障害者用設備, 中庭, ホール; バリアフリー情報: 案内板,
双方向型・視聴覚資料を用いた発表, 触覚的探索用のアイテム;
支援スキル: 運動障害; 利用可能な支援プロダクト／サービス: 運動障害, 精神障害;
特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;
支払い:
クレジットカード利用可;
アルジュバロッタの戦い研究センター（O Centro de Interpretação da Batalha de Aljubarrota (CIBA)）は、サン・ジョルジェ古戦場 （Campo Militar de S. Jorge）を重要視し、保護するために立ち上げられた、アルジュバロータの戦いの財団（Fundação da Batalha de Aljubarrota）によるプロジェクトです。
この施設は、サン・ジョルジェ（São Jorge）に在り、この戦いについての解説エリアが、教育とエンターテイメントという新しい概念により、4つの核から成り立っています。それぞれのエリアにおいて、来場者に対して、アルジュバロータの戦いが、如何にして起こり、どんな戦いであったかの解説がなされています。最初の2つのエリアでは、過去の記述や、戦場の考古学的な発見に基づいた、アルジュバロータの戦いの解説があります。ここには、この戦いの復興および関連イベントに関する映像を上映する、オーディオルームの設備もあります。そして、3つ目のエリアでは、戦いの目的について、科学的、文学的、それぞれ違った見解を通して、アルジュバロータについての様々な解釈がなされています。最後のエリアは、このセンターの外部のスペースで、サン・ジョルジェ平原（Campo de São Jorge）と呼ばれる、戦場において最も重要であった場所を示しています。 このセンターの見学に要する時間は約50分です。
CIBAとサン・ジョルジェ平原(Campo de São Jorge)
両方見学の場合は約2時間です。

Seia

Museu do Brinquedo
住所： Largo de Santa Rita6270 Seia
电话： +351 238 082 015 ファックス： +351 238 083 521
Eメール: museu.brinquedo@cm-seia.pt ウェブサイト： http://www.cm-seia.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;

Tomar

ムゼウ・ルソーヘブライコ・デゥ・アブラハム・ザクート（Museu Luso-Hebraico de Abraham Zacuto）（アブラハム・ザクート・ルソ-ヘブライ博物館）-トマール（Tomar）・シナゴーグ
住所： Rua Dr. Joaquim Jacinto, 73 2300-577 Tomar
电话： +351 249 329 814 ファックス： +351 249 329 811
Eメール: museologia@cm-tomar.pt ウェブサイト： http://www.cm-tomar.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能; 建物内のバリアフリー通路: 全部;
特色とサービス:
ガイドツアー;

トマール・シナゴーグは、15世紀半ばに建てられてから今日に至るまで、ほとんど変更されておらず、完全に保存されている唯一のユダヤ教の宗教建築物です。 これはルネッサンス様式の建物で、トマールのユダヤ人コミュニティが、都市の人口と富が増加したときに作業を依頼したエンリケ航海王子（1394-1460）に非常に親密であったときに建てられました。

2013 ポルトガル観光局 無断転載・転用禁止
info@visitportugal.com

キリスト教世界のほとんどすべてのユダヤ教の会堂のように、非常に目立たない外観で、内部は驚きです。 天井は4つの柱で支えられており、それぞれの柱には、イスラエルの母を表す幾何学的な植物のモチーフで装飾された柱頭があります。 サラ、レイチェル、レベッカ、リア。 柱の間にはイスラエルの12部族を象徴する12のアーチが接続されており、礼拝室の上部の隅には石積みに逆さまに配置された8つの粘土製容器のマウスピースに対応して2つの穴があり、儀式での聖歌の響きを増幅しています。

1496年、国の領土からユダヤ人が追放されたため、シナゴーグは閉鎖され、1923年にサミュエル・シュワルツ博士（1880～1953年）に買収され、彼が設立したルソヘブライ博物館がそこに残ることを条件に、1939年に州に寄贈されるまで、さまざまな用途を経てきました。 それは国の様々な地域に散在する墓石の重要なコレクションを提示し、ポルトガルのヘブライ文化の重要性を証明しています。
コレクションには、ユダヤ人の伝統と崇拝の本や物も含まれています。

最近、発掘調査の
後、隣りに女性の清めの儀式の浴槽
*ミクヴェ（mikveh）*を目的とする部屋が見つかりました。

Torres Novas

Museu Municipal Carlos Reis

住所： Rua do Salvador, 10　2350-416 Torres Novas

电话： +351 249 812 535 ファックス： +351 249 839 099

Eメール: museu.municipal@cm-torresnovas.pt ウェブサイト： http://www.cm-torresnovas.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;
カルロス・レイス博物館（Museu Municipal Carlos Reis）
この博物館は、考古学、宗教美術、現代絵画、地元民族誌に関する興味深い品々を所蔵しています。

Viseu

Museu Nacional Grão Vasco

住所： Paço dos Três Escalões 3500-195 Viseu

电话： +351 232 422 049 ファックス： +351 232 421 241

Eメール: mngv@mngv.dgpc.pt ウェブサイト： http://www.museunacionalgraovasco.gov.pt/;http://www.patrimoniocultural.gov.pt/pt/museus-e-monumentos/rede-portuguesa/m/museu-grao-vasco/

バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能; 身体の不自由な方でもアクセス可能;
入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部;
建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア／サービス:
身体障害者用設備; 利用可能な支援プロダクト／サービス: 視覚障害;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

グラン・ヴァスコ美術館（Museu de Grão Vasco） 1915年に創設されたグラン・ヴァスコ美術館は、ヴィゼウ（Viseu）の街のカテドラルに隣接する司教館を利用した美術館です。その創設者フランシスコ・デ・アルメイダ・モレイラは、ポルトガルの美術品、特に近現代における最高のポルトガル人画家たちの作品を収集することに力を注ぎました。 美術館に入る前に、溝彫りをほどこした2本の柱が両端に立つ洗練されたポルティコ（柱廊玄関）を見れば、このルネッサンス時代の建物の崇高さを感

2013 ポルトガル観光局 無断転載・転用禁止
info@visitportugal.com

じることができます。この司教館は、さまざまな高位聖職者（恐らく始めは1466年から1482年にヴィゼウ司教を務め、この中庭に眠るジョアン・ゴメス・デ・アブレウ）の手でつくられてきたものです。後年この司教館には、すべてのカテドラルに対して一定人数の若者の教育を義務付ける1563年のトレント公会議の決定を受けて、コンシラール神学校も併設されました。 所蔵品には、本来礼拝の儀式に用いられていた品々（ルネッサンスからバロック時代にかけての絵画、彫刻、金銀器、象牙細工）に加え、考古学的遺物、19世紀の重要なポルトガル絵画、ポルトガル製のファイアンス焼きがあり、東洋の磁器や家具もいくつか含まれています。 この美術館のメインとなる展示品は、グラン・ヴァスコの名で知られるヴァスコ・フェルナンデス（1475－1542）と、その主な合作者であるガスパール・ヴァスの素晴らしい絵画の数々です。

マデイラ諸島

Funchal

Casa-Museu Frederico de Freitas

住所： Calçada de Santa Clara, 7 9000-036 Funchal

电话： +351 291 202 570 ファックス： +351 291 202 580

Eメール: cmffreitas@sapo.pt ウェブサイト： http://www.museumac.com/item3.php?lang=1&idchannel=20&idpage=31&id=41;http://www.museumac.com

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ;

Madeira Story Centre

住所： Rua D. Carlos I Nº 27-299060-051 Funchal

电话： (+351) 291 639 081 ¦ (+351) 291 639 082

Eメール: info@madeirastorycentre.com ウェブサイト： http://www.madeirastorycentre.com/

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;
マデイラ・ストーリー・センター（Madeira Story Centre）
マデイラ・ストーリー・センターは、フンシャル（Funchal）の街の古い地区にあります。マデイラの歴史と文化に気軽に接し、肌で感じることができます。

リスボンとその周辺地方

Cascais

Casa das Histórias Paula Rego

住所： Av. da República, 300 2750-475 Cascais

电话： +351 21 482 69 70 ファックス： +351 21 482 69 71

Eメール: chpr@cm-cascais.pt ウェブサイト： http://www.casadashistoriaspaularego.com

バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

Lisboa

Casa Fernando Pessoa

住所： Rua Coelho da Rocha, 16-18 (Campo de Ourique) 1250-088 Lisboa
电话： +351 21 391 32 70 - +351 21 391 32 77 ファックス： +351 21 391 32 78
Eメール: info@casafernandopessoa.pt ウェブサイト： http://www.casafernandopessoa.pt

その他の情報:
フェルナンド・ペソア博物館[Casa Fernando Pessoa]は改修のため、閉館しております。
ですが、「アウェイフロムホーム」アクティビティプログラムによる学習サービスは、引き続き開催しています。
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

フェルナンド・ペソア博物館（Casa-Museu Fernando Pessoa） リスボン（Lisboa）市議会は、詩人のフェルナンド・ペソアが晩年を過ごした家を利用して、1993年にフェルナンド・ペソア博物館を設立しました。フェルナンド・ペソアは世界でも最も偉大な詩人のひとりに数えられています。 この博物館は、この家を真の「詩の殿堂」にすることによって、ペソア作品の研究を支援し、芸術的な創作活動を促進することを目的としています。ここでは、フェルナンド・ペソアが使っていた眼鏡、ペソアの詩集「メッセージ（Mensagem）」の初版本、1930年代のポルトガル文化における重要人物であったアントニオ・フェーロにペソアが送った手書きの手紙などを見ることができます。 現在の建物は、フェルナンド・ペソアの研究家らとイタリア人建築家ダニエラ・エルマーノの設計により、家の外壁を残しながら博物館としての新たな役割に適した形に改築されています。現在、ペソアが暮らしていた当時の家具が置かれているのは、ペソアの寝室のみです。 ここにはペソアの作品や世界の詩に関する書籍等を集めた質の高い図書室が設けられており、世界中から多くの研究家たちが訪れます。この博物館は美術展覧会や大規模な編集作業にも使われています。 ペソアのファンにお勧めの順路： 午前中にフェルナンド・ペソア博物館を見学。次にシアードにあるカフェ「ブラジレイラ（Brasileira）へ行き、道端に並ぶテーブル（できればペソアの像のそばの席）に座る。コーヒーを片手に「メッセージ」の詩を何篇か読む。 その後コメルシオ広場（Praça do Comércio）へ行き、フェルナンド・ペソアが長年通ったカフェ・マルティーニョ・ダ・アルカーダ（Café Martinho da Arcada）で昼食をとる。

Lisboa Story Centre - Memórias da Cidade

住所： Terreiro do Paço, 78 / 81 1100-148 Lisboa
电话： +351 21 031 28 00
Eメール: info@lisboastorycentre.pt ウェブサイト： http://www.visitlisboa.com

バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;

Museu Calouste Gulbenkian

住所： Av.de Berna, 45 A 1067-001 Lisboa
电话： +351 21 782 30 00 ファックス： +351 21 782 30 32
Eメール: museu@gulbenkian.pt ウェブサイト： https://gulbenkian.pt/museu/

バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;

Centro de Arte Moderna José de Azeredo Perdigão

住所： Rua Dr. Nicolau Bettencourt 1050-078 Lisboa
电话： +351 21 782 30 00 - 21 782 34 74 ファックス： +351 21 782 30 37 - 21 782 30 34
Eメール: camjap@gulbenkian.pt ウェブサイト： http://www.camjap.gulbenkian.org

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;
ジョゼ・デ・アゼレード・ペルディガン現代美術センター（Centro de Arte Moderna José de Azeredo Perdigão） この美術館は、絵画、彫刻、デッサン、写真、版画など、20世紀ポルトガル美術の貴重なコレクションを所有しています。その中には、アマデオ・デ・ソウザ・カルドソ（1887－1918）の代表的な作品のコレクションも含まれています。 1960年代から現代にかけての英国のアート、アーシル・ゴーキー（1904－1948）の作品を中心としたアルメニアのアート、ヴィエラ・ダ・シルヴァとアルパド・スゼンヌの作品の重要なコレクションも展示しています。

Museu Arpad Szenes - Vieira da Silva

住所： Praça das Amoreiras, 56- 58 1250-020 Lisboa
电话： +351 21 388 00 44 / 53 ファックス： +351 21 388 00 39
Eメール: fasvs@fasvs.pt ウェブサイト： http://www.fasvs.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;
アルパド・スゼンヌ - ヴィエラ・ダ・シルヴァ美術館（Museu Arpad Szenes - Vieira da Silva） この美術館の所蔵品には、アルパド・スゼンヌ（1897－1985）とマリア・ヘレナ・ヴィエラ・ダ・シルヴァ（1908－1992）の絵画があります。この美術館は、ジョアン5世の時代の1734年に設立された古い絹工場を利用しています。近くの公園にはたくさんの美しいクワの木が植えられており、その横にはジョアン5世の命令で建設された水道橋のアーチが続いています。 この美術館では、作品にスゼンヌやシルヴァと何らかの共通点があるアーティストや、この2人と生活や仕事を共にしたアーティストの作品を展示する特別展も定期的に開催しています。

Museu da Marioneta – Convento das Bernardas

住所： Rua da Esperança, 1461200-660 Lisboa
电话： +351 213 942 810 ¦ +351 916 294 128 ¦ +351 916 294 135
ファックス： +351 213 942 819
Eメール: museu@museudamarioneta.pt ウェブサイト： https://www.museudamarioneta.pt/

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;
国立マリオネット博物館（Museu Nacional da Marioneta）
ベルナルダス修道院（Convento das Bernardas）の中には、他では見られない専門博物館があります。それは世界中のさまざまな文化圏から集められた、さまざまな操り人形とお面を展示しているマリオネット博物

カルースト・グルベンキアン美術館（Museu Calouste Gulbenkian） 1969年にオープンしたこの美術館は、カルースト・グルベンキアンが個人で集めた素晴らしいコレクションを所蔵しています。 建物は最新の美術館建築を取り入れており、周囲に広がる公園とよく調和するように設計されています。

常設展示のスペースは、建築家ポール・ヴァンデボテルメの設計に基いて最近改装されました。 この美術館では、エジプト美術、グレコ・ローマン美術、イスラム美術、ヨーロッパ絵画のセクションに加え、ルネ・ラリックのデザインした素晴らしい宝飾品の数々を見ることができます。

絵画コレクションには、フランドル、オランダ、フランス、英国、イタリアの各派による16世紀から19世紀の作品が含まれています。 主なものには、ロヒール・ファン・デル・ウェイデン、ドメニコ・ギルランダイオ、フランス・ハルス、レンブラント・ファン・レイン、ピーテル・パウル・ルーベンス、ジャン・オノレ・フラゴナール、ユベール・ロベール、エドゥアール・マネ、、エドガー・ドガの作品があります。

彫刻（特に18世紀から19世紀の作品）、ルネッサンス時代のタペストリー（イタリア製およびフランドス製）、フランス家具（ルイ15世、16世の時代のもの）のセクションも、絵画セクション同様見ごたえがあります。 美術館の内部は、新たに配置換えを行ってシンプルになり、空間を広く取ってあるため以前ほど雑然としておらず、作品を新たな視点から見ることができるようになりました。

案内図も新たにデザインしなおされ、常設展示作品のデータ、コレクター、所蔵品、建物、サービスや活動について来館者が検索することができるコンピューターが各所に設けられました。

Museu da Presidência da República

住所： Palácio Nacional de Belém Praça Afonso de Albuquerque 1349-022 Lisboa
电话： +351 21 361 46 60 ファックス： +351 21 361 47 64
Eメール: museu@presidencia.pt ウェブサイト： http://www.museu.presidencia.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;
支払い:
クレジットカード利用可;
共和国大統領博物館（Museu da Presidência da República）
この大統領博物館は、大統領公邸であるベレン王宮（Palácio de Belém）を一般に公開することによって、国民の代表である大統領をもっと身近に感じてもらおうというアイディアのもとに設立されました。よって、この博物館では文化と一般市民をその長期テーマにかかげています。 大統領博物館はベレン王宮に設けられており、この大統領公邸の歴史や大統領自身について、幅広く正確な情報を伝えることに努めています。この博物館では、革新的なテクノロジーを活用することにより、簡単でインタラクティブな形で情報にアクセスできるようになっています。こうした方法を取り入れることによって、情報の伝達や文化の公開の新たな手段を活用した先例ともなる、現代の政治と政府機関の歴史博物館をつくりあげようとしているのです。 この大統領博物館は、ただ企画通りにつくられた動きのない空間ではなく、教育、研究・調査、出版、文化のイニシアティブの中心でもあります。その他の参加型ツールには、ウェブサイト、デジタル・アーカイブ、仮想博物館、教育・訓練サービス、多数の文化拡大活動があります。このように大統領博物館では、現在進行形の活発なプロジェクトを実施します。

館です。人形やお面以外にも、実物大の模型、小道具、影絵劇場、舞台背景に加え、舞台裏で活躍するさまざまな機械類や、復元したバロック様式の劇場があります。もちろん、舞台に嵐や波を起こす扇風機も備えられています。これらの品々が一堂に会したマリオネット博物館は、人形劇という古くから行われてきた娯楽に関する非常に独創的な博物館です。 この博物館の歴史とその幅広い展示品の数々は、もともとS・ロウレンソ劇団一座が上演用に集めた、さまざまな劇に合わせてデザインされた人形などのコレクションから始まっています。 この博物館では、世界各地の人形劇の歴史を知ることができます。影絵と東洋のセクションにはじまり、さまざまな人形の種類、形、制作方法の説明を経て、ヨーロッパの伝統的な人形劇一座のセクションへと移ります。特に、人形劇に対するポルトガル人の貢献に焦点があてられています。 人形劇を広い意味でとらえ、テレビに登場するパペットやアニメーションに関するセクションも設けており、人形を使ったテレビ番組の原理も紹介しています。

Museu das Comunicações

住所： Rua do Instituto Industrial, 16 1200-225 Lisboa
电话： +351 21 393 5108 /59 - 800 215 216 ファックス： +351 21 393 50 06
Eメール: museu@fpc.pt ウェブサイト： http://www.fpc.pt

その他の情報:
Voor meer informatie over tijdelijke exposities en evenementen kunt u de Culturele Agenda raadplegen;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;

Museu do Campo Pequeno

住所： Praça do Campo Pequeno1000-306 Lisboa
电话： +351 21 799 84 50
Eメール: museu@campopequeno.com ウェブサイト： http://www.campopequenotauromaquia.com

時刻表:
10:00 - 13:00 / 14:00 - 18:00;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

Museu do Oriente

住所： Avª. Brasília, Doca de Alcântara (Norte) 1350-302 LIsboa
电话： +351 21 358 52 00
Eメール: info@museudooriente.pt ウェブサイト： http://www.museudooriente.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;
支払い:
クレジットカード利用可;
はるか極東の港にたどりついた最初の国、ポルトガル。そのポルトガルとアジアとの歴史的なつながりの証にふさわしく、オリエント博物館（Museu do Oriente）はアルカンタラ河岸（Doca de Alcântara）に位置し、博物館のある40年代の建物のかたわらをテージョ川が流れるという、すばらしい環境にあります。 当博物館は、二つの常設展を大きな柱としています。1階の展示は「アジアにおけるポルトガルの存在」と題し、オリ

Museu de São Roque

住所： Largo Trindade Coelho1200-470 Lisboa

电话： +351 21 323 50 65 ファックス： +351 21 323 50 60

Eメール: info@museu-saoroque.com ウェブサイト： http://www.museu-saoroque.com;http://www.scml.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

サン・ロケ博物館（Museu de São Roque） この博物館は、宗教的な慈善施設サンタ・カーザ・ダ・ミゼルコルディア（Santa Casa da Misericórdia）の所有する品々を公開した展覧会に端を発しています。この展覧会は、ヴァスコ・ダ・ガマのインド到達400周年を記念すると共に、イエズス会による東洋での布教活動を祝って、1898年にリスボンで開かれました。 この博物館の所蔵品は、4つのセクションに分けて展示されています。そのセクションには、リスボンのサンタ・カーザ・ダ・ミゼルコルディアの遺産、サン・ロケ教会と聖ロケの伝説に関する絵画等の作品、サン・ジョアン・バプティスタ礼拝堂（Capela de São João Baptista）の至宝、かつてのイエズス会の所蔵品、の4つがあります。イエズス会は、サン・ロケ学校を創設時（16世紀）から同会がポルトガルから追放される1768年まで運営していました。 この博物館で見ることのできる多数の貴重な品々の中でも、聖ロケの伝説に関する絵画、グレゴリオ・ロペスの作といわれるポルトガル王ジョアン3世とその妻カタリナの肖像画（16世紀）、慈愛の書、マヌエル1世とレオノール王妃の婚礼を描いた絵画（16世紀）は特に見逃せません。

Museu do Centro Científico e Cultural de Macau

住所： Rua da Junqueira, 30　1300-343 Lisboa

电话： +351 21 361 75 70 ファックス： +351 21 362 78 59

Eメール: geral@cccm.pt ウェブサイト： http://www.cccm.mctes.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;

Museu Nacional de Arqueologia

住所： Praça do Império　1400-206 Lisboa

电话： +351 21 362 00 00 - +351 21 362 00 12 / 14 ファックス： +351 21 362 00 16
Eメール: mnarqueologia@imc-ip.pt ウェブサイト： http://www.mnarqueologia-ipmuseus.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;
国立考古学博物館（Museu Nacional de Arqueologia） この博物館は、国際的にその名を知られたポルトガル人民族学者で言語学者でもあったジョゼ・レイテ・デ・ヴァスコンセロス（1881－1941）によって、1893年に設立されました。16世紀に建てられたジェロニモス修道院（Mosteiro dos Jerónimos）の一部を利用しています。ジェロニモス修道院は、ポルトガル発見の歴史における記念碑的存在であり、UNESCOの世界遺産に指定されています。 この博物館の幅広い膨大な数の所蔵品は、現在ポルトガル財団が長年にわたり収集した美術品、資料類から構成されています。非常に価値の高い収蔵品のなかでも、特筆すべきは17、18世紀の中国・日本の屏風、南蛮美術、インド会社の刻印入り陶磁器コレクション、チモール原住民の文化に関する品々です。 2階の展示「アジアの神々」は、クォク・オン・コレクションを基に計画されたもの。1万3千点以上の品々からなるこのコレクションは、ヨーロッパのこの種のものでは最も重要なひとつとされています。展示室には、操り人形、仮面、絵画、祭具、ランプ、竜、遊具、像など、アジアの芸能美術、民間伝説・信仰の証たる品々が並んでいます。 また館内には、特別展示のためのスペースや、音楽、ダンス、演劇、映画、人形劇など、さまざまな文化イベントのための多目的スペースも備わっています。

Museu Nacional de Etnologia

住所： Av. Ilha da Madeira　1400-203 Lisboa

电话： +351 21 304 11 60 ファックス： +351 21 301 39 94

Eメール: mnetnologia@ipmuseus.pt ウェブサイト： http://www.mnetnologia-ipmuseus.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;
国立民族学博物館（Museu Nacional de Etnologia） 国立民族学博物館は、1959年にジョルジェ・ディアスが展覧会の開催用に集めた品々がもとになっています。ディアスは、ポルトガル植民地の少数民族研究ミッションの一環として行われた「マコンデ族の生活と芸術」という展覧会の実施責任者でした。 この博物館は、1965年にポルトガル植民地民族学博物館の名で正式に設立されました。1974年に民族学博物館と改名され、翌年にはこの博物館用に建設された現在の建物に移転しました。財政難により一般への公開が一時中止されましたが、その後も研究チームによる研究・維持は引き続き行われていました。1985年に再度一般に公開されるようになり、1989年に国立博物館となりました。 約30,000点におよぶ所蔵品の中で、体系的に収集されてきた農具類が特に貴重なものです。常設展示のセクションはなく、期間を限定して複数のテーマに沿った展示を行っています。これまで行われた展示には、人類科学の一般的な分野をカバーしたもの（「人類と文化」など）をはじめ、現代と直接的に深く関わっているテーマや、ポルトガル特有の音楽様式であるファドなど特定のテーマを取り上げたものがあります。

Museu Nacional do Teatro

住所： Estrada do Lumiar, 10 - 12　1600-495 Lisboa

电话： +351 21 756 74 10 / 19 ファックス： +351 21 757 57 14

Eメール: mnteatro@ipmuseus.pt ウェブサイト： http://museudoteatro.imc-ip.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;
国立演劇博物館（Museu Nacional do Teatro） 夏の住まいとしてつくられた18世紀の小さな館を利用した博物館です。その19世紀の外装は、博物館用に大きく区切られた部屋の内装とよく調和しています。建物の周りにある庭園は、19世紀にここを所有していたアンジェジャ侯爵がつくったもので、リスボンでも美しい庭園のひとつです。 この博物館に足を踏み入れると、強い感情にいろどられた演劇独特の雰囲気が感じられます。館内にある実物大のセット、舞台衣装、衣裳部屋、小道具、主役たちの風刺画や写真、19～20世紀につくられた紙製のミニ劇場、そして数千枚に及ぶ写真を見れば、いつの時代にも変わらぬ舞台の不思議な魅力を感じることができます。外ではのんびりと歩きながら自然の魅力を堪能し、彫刻の庭園を眺めて楽しむことができます。 ここの一番の見どころのひとつは、舞台と演技に一生を捧げたポルトガルの偉大な俳優や女

トガルとなっている土地での人間の進化の歴史について学びたい人にとって、欠かすことのできない重要な資料です。ここのコレクション（ヨーロッパでも有数の中石器時代・巨石時代のコレクションを所有）は、はるか古代にはじまり、この半島の伝説的な富に引きつけられてやってきたフェニキアやギリシャの商人や船乗りたちの影響、長期にわたってこの地を支配し独自の社会や政治体系の証拠を数多く残した偉大なローマ文明やアラブ文明まで、幅広い時代をカバーしています。 この博物館は、考古学、民族誌、金石学、古銭学に関する幅広いコレクションを活用し、定期的に企画展を開いています。こうした企画展では、特定のテーマに沿って、包括的な時代背景を踏まえた展示を行うことにより、一般の人がその文化的価値をよりよく理解できるようにしています。 常設展示には、いつの時代も人々を魅了する黄金の魅力を放つポルトガル考古学の至宝セクションや、それよりも規模は小さいものの内容の充実した古代エジプトのセクションがあります。

Museu Nacional do Azulejo

住所： Rua Madre de Deus, 4 1900-312 Lisboa

电话： +351 21 810 03 40 ファックス： +351 21 810 03 69

Eメール: mnazulejo@imc-ip.pt ウェブサイト： http://mnazulejo.imc-ip.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;
国立アズレージョ美術館（Museu Nacional do Azulejo） この美術館は、1509年にレオノール王妃によって建てられたマドレ・デ・デウス修道院（Convento da Madre de Deus）を利用しています。 現在の建物は、優れた17世紀の建築に18世紀の絢爛なバロック様式の装飾が組み合わされたものです。来館者は、教会、聖具室、礼拝堂など、修道院全体を見学することができます。 この美術館が所蔵する素晴らしいアズレージョの中には、15世紀から現代にかけてのポルトガルにおけるアズレージョの歴史的、技術的、芸術的進化を示す品々が含まれています。主要な展示品として、「生命の聖母（Nossa Senhora da Vida）」のパネル（1580年）、東洋の影響を受けた祭壇前部、狩りの様子を描いたパネル（1680年）、「舞踏の稽古（Lição de Dança）」（1707年）、18世紀につくられたサント・アントニオ礼拝堂（Capela de Santo António）の壁画タイル、1755年の大地震以前の「リスボン展望図（Vista Panorâmica de Lisboa）」、「帽子屋の物語（História do Chapeleiro）」（1800年）があります。20世紀の陶芸作品やアズレージョには、ジュリオ・バラーダス、マリア・ケイル、ジュリオ・ポマール、カルガレイロ、ケルビン・ラパといったアーティストの作品があります。

Museu Rafael Bordalo Pinheiro

住所： Campo Grande, 382 1700-097 Lisboa

电话： +351 21 755 04 68 ファックス： +351 21 757 18 58

Eメール: museu.bordalopinheiro@cm-lisboa.pt ウェブサイト： http://www.museubordalopinheiro.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;
ラファエル・ボルダロ・ピニェイロ美術館（Museu Rafael Bordalo Pinheiro） この美術館は、19世紀後半のリスボンで文化、芸術、政治の各分野において重要な人物であったラファエル・ボルダロ・ピニェイロ（1846－1905）の生涯と作品を紹介する、伝記的な専門美術館です。 ラファエル・ボルダロ・ピニェイロは、デッサンや陶磁器をはじめとするさまざまな芸術作品を残し、風刺画家として、また当時の社会の痛烈な批評家として、高い名声を得ました。 この美術館では、ボルダロ・ピニェイロが残した陶磁器の作品の包括的なコレクション（彼の特徴である超自然主義的なセンスを反映したもの）に加え、ピニェイロの絵画、デ優へのオマージュです。その中には、エドゥアルド・ブラザンとローザ・イ・ブラザン劇団（1880－1898）、アメリア・レイ・コラソとレイ・コラソ・ロブレス・モンテイロ劇団、女優のヴィルジニア、アマリア・ロドリゲス、ヴァスコ、エンリケ・サンタナなどがいます。 約30,000冊を所蔵するここの図書館は、重要書の揃ったポルトガル最大の舞台芸術専門図書館です。

Museu-Escola de Artes Decorativas Portuguesas

住所： Largo das Portas do Sol 21100-411 Lisboa

电话： (+351) 21 881 46 40 ¦ (+351) 21 881 46 00

Eメール: museu@fress.pt ウェブサイト： https://www.fress.pt/museu/um-projeto-original/

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;
支払い:
クレジットカード利用可; トラベラーズチェック利用可;
ポルトガル装飾芸術学校博物館（Museu-Escola de Artes Decorativas Portuguesas） 銀行家で美術品の収集家でもあったリカルド・エスピリト・サント・シルヴァは、1953年にその貴重な美術品コレクションの一部を国に寄贈しました。その多大な寄贈物のひとつにアズラーラ宮（Palácio Azurara）がありました。これは18世紀につくられた美しい建物で、リスボンの古い街並みを残す地区の中でも特に美しい場所であるポルタス・ド・ソル広場（Largo das Portas do Sol）の近くにあります。 アズラーラ宮の各部屋には真の名品が数多く飾られており、18世紀のポルトガル貴族の館の優雅な雰囲気にひたることができます。ポルトガルでも有数の貴重な家具のコレクションがあり、ポルトガルと遠方の国々との出会いを象徴する品々を含む、16世紀から19世紀の家具が展示されています。 装飾品の中には、最高品質のアライオロス（Arraiolos）のじゅうたん、東洋の影響を受けたキルトや刺繍、ポルトガル人画家やポルトガルに滞在した外国人画家の絵画、この博物館の創設者が収集した金銀器の貴重なコレクション（16～19世紀に民間人が使用していたポルトガル製銀器のセットなど）、陶磁器やガラス製品があります。デッサン、版画、装丁本、時計といった、小さいながら価値のある品々もさまざまな部屋に配置されており、実際に人が住んでいるかのような雰囲気を高めています。 ポルトガルにおける装飾芸術の研究や学習を促進し、一流の専門訓練を推進していくために、財団では装飾芸術高等学校（Escola Superior de Artes Decorativas）と美術・工芸研究所（Instituto de Artes e Ofícios）を運営しています。博物館では、木工品、装飾絵画、彫刻、版画、装丁、めっき、アライオロスのじゅうたんなどに関する伝統技能を学ぶ、さまざまなワークショップが開かれています。世界各地で行ってきた数々の仕事の中でも、ヴェルサイユ宮殿にある火事で焼けたデュバリー婦人の図書室の復元は特に大きな成果といえるでしょう。

ッサン、出版物を多数所有しています。

Oeiras

Museu da Pólvora Negra
住所： Fábrica da Pólvora de BarcarenaEstrada das Fontaínhas2745-615 Barcarena
电话： + 351 210 977 420 / + 351 210 977 422 / + 351 210 977 423 / + 351 210 977 424 ファックス： + 351 210 977 425
Eメール: museudapolvoranegra@oeiras.pt ウェブサイト： https://www.oeiras.pt/museu-da-p%C3%B3lvora-negra

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

Seixal

Ecomuseu Municipal do Seixal
住所： Praça 1º de Maio 2840-485 Seixal
电话： +351 210 976 112 ファックス： +351 210 976 113
Eメール: ecomuseu@cm-seixal.pt ウェブサイト： http://www.cm-seixal.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;

Setúbal

Museu do Trabalho Michel Giacometti
住所： Largo Defensores da Repúbica 2910-470 Setúbal
电话： +351 265 537 880 ファックス： +351 265 537 889
Eメール: museu.trabalho@mun-setubal.pt ウェブサイト： http://www.rpmuseus-pt.org/Pt/cont/fichas/museu94.html

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;
トラバーリョ・ミシェル・ジャコメッティ博物館（Museu do Trabalho Michel Giacometti）
かつて魚の缶詰工場として使われていた建物を利用した博物館で、魚の缶詰製造や缶詰にプリントするリトグラフに関する産業機械に加え、ミシェル・ジャコメッティの指導の下で集められた農具や農耕機械を展示しています。この博物館は、欧州会議の1998年度欧州博物館賞の努力賞を受賞しました。

Sintra

Museu de História Natural de Sintra - Colecção Miguel Barbosa
住所： Rua do Paço, nº 20 - Vila de Sintra 2710-602 Sintra
电话： +351 21 923 85 63 / 21 910 52 49 ファックス： +351 21 923 85 20
Eメール: museu.hnatural@cm-sintra.pt ウェブサイト： http://www.cm-sintra.pt

バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;

Sintra Museu Klaus Ohnsmann
住所： Rua Marechal Saldanha,3 (entrada/entrance Costa do Castelo, 2) 2710-587 Sintra
电话： +351 21 923 44 87
Eメール: klausohnsmannpainter@msn.com

バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;

Vila Franca de Xira

Museu Municipal de Vila Franca de Xira
住所： Rua Serpa Pinto, 65 2600-263 Vila Franca de Xira
电话： +351 263 280 350 ファックス： +351 263 280 358
Eメール: museumunicipal@cm-vfxira.pt ウェブサイト： http://www.museumunicipalvfxira.org

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
身体の不自由な方でもアクセス可能;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー;
ヴィラ・フランカ・デ・シーラ市立博物館（Museu Municipal de Vila Franca de Xira） ヴィラ・フランカ・デ・シーラ市立博物館は複数の場所に設けられており、場所によってさまざまな展示がおこなわれています。 1. ソブラリーニョ宮（Palácio do Sobralinho） 博物館の本部となっている17世紀の宮殿で、資料センターと教育サービスも入っています。宮殿の建物と敷地も見学することができます。南の塔には「宮殿ワークショップ」が設けられており、4才から12才までのこどもたちに美術教育を行うアトリエがあります。 2. アルヴェルカ博物館（Núcleo Museológico de Alverca） 「日常生活から博物館へ：17世紀から20世紀のアルガルヴェ」をテーマに、この地域一帯の農業活動に関わりのあるものを中心とした、民族誌的な品々を数多く展示しています。 3. 歴史アーカイブ 4. バルコ・ヴァリノ・リベルダーデ（Barco Varino Liberdade）
バルコ・ヴァリノ・リベルダーデは、かつてテージョ川（Rio Tejo）で使われていた典型的な川船です。完全に昔の姿に復元されており、4月から9月まで川を運航しています。 5. キンタ・ダ・ピエダーデ（Quinta da Piedade）
キンタ・ダ・ピエダーデは、ポヴォア・デ・サンタ・イリア（Póvoa de Santa Iria）にある建物と土地からなり、国の史跡に指定されています。ドン・マルティーニョ協会が所有する、地域の歴史に関する品々の常設展示を行っているほか、図書室と特別展示用のギャラリーも設けられています。農耕機械専門の博物館も近々オープンする予定です。 6. サント・マルティル教会（Igreja de Santo Mártir） この教会は、ヴィラ・フランカ・デ・シーラ市立博物館の宗教美術センターです。